学校番号	3025

令和８年度　理数科

教科	理数科	科目	理数地学	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「地学」（啓林館）、「地学基礎」（数研出版）						
副教材等	「ニューステージ地学図表」（浜島書店）、「センサー地学」（啓林館）、「セミナー地学基礎」（第一学習社）						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

小・中学校での理科の学習のうち、地学分野の学習の続きとして展開する。地球と宇宙に関する「地球の概観と構造」「地球の活動」「地球の歴史」「大気と海洋の構造と運動」「宇宙の構造と進化」という５つの分野で学びながら、私たち周りの自然について考える。さらに、自然による災害を含めた私たちの生活への影響についても考える。この２つの問題意識を持ちながら、考え続ける姿勢を育んでほしい。地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、観察、実験などを通して、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

２ 学習の到達目標

【知識及び技能】

地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

地球環境と人間生活とのかかわりについて理解する。

宇宙の中の惑星としての地球の特徴を理解させる。

【思考力、判断力、表現力等】

地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、変動する地球について観察、実験などを通して探究し、地球がプレートの運動や太陽の放射エネルギーによって変動してきたことを理解する。

【学びに向かう力、人間性等】

日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行う。宇宙の誕生と地球の形成について観察を通して探究する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付け、観察、実験の過程や結果およびそこから導き出した自らの考えを的確に表現する。観察、実験などを通して地学的な知識を身に付けている。	地学的な事物･現象の中に問題を見出し、観察、実験などを行うとともに、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的･総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことについて言語活動を通じて表現する。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。 地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を主体的に身に付ける。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	活動する地球	1.地球の形や大きさについて学習する。 2. 地球の層構造を学習し、表面と内部の性質の違いを理解する。 3.地震のおこるしくみと震源断層の規模と位置について学習する。	a:地球の形や大きさについて意欲的に学習しようとしている。 b:地球の構造(地殻・マントル・外核・内核)、地球内部の構成物質の違いによる区分とかたさの違いによる区分、プルームテクトニクスを理解し、知識を身に付けている。 c:世界の地震の分布、日本付近で発生する地震の種類について理解し、知識を身に付けている。	学習状況観察、ノートの記述、小テスト、定期考査	学習状況観察、ノート・ワークシートの記述、発表、定期考査	探究活動、ノート・観察・実験ワークシート
	地球を形成する大地	1.火山帯でのマグマの発生について学習する。 2.火成岩の分類と形成について学習する 3.変成岩の分類と形成について学習する 4.堆積岩の分類と形成について学習する。	a:火成岩の分類と形成方法の違いを説明できる。変成岩の分類と形成環境の違いを説明できる。堆積岩の分類と形成原因を説明できる。 b:マグマの形成と火山地形・種類について考察できる。 c:意欲的に火山の特徴と身の回りの現象を結び付けて考えることができる。	学習状況観察、ノートの記述、小テスト、定期考査	学習状況観察、ノート・ワークシートの記述、発表、定期考査	探究活動、ノート・観察・実験ワークシート
2学期	移り変わる地球	1. 風化と河川の働き、地層の形成と堆積構造について学習する。 2. 地質構造（断層、褶曲、整合と不整合）について学習する。 3.先カンブリア時代から新生代第四紀までの地球環境の変化と生物界の変遷について学習する。	a:河川のはたらきと風化、地層の形成、堆積構造に関心をもち、地層に関して意欲的に探究しようとしている。 b:断層や褶曲、不整合などから、過去の地殻変動の歴史を推定することがでる。 c:先カンブリア時代から新生代第四紀までの、地球環境の変化と生物界の変遷を理解し、知識を身に付けている。	学習状況観察、ノートの記述、小テスト、定期考査	学習状況観察、ノート・ワークシートの記述、発表、定期考査	探究活動、ノート・観察・実験ワークシート

	宇宙における地球	1．宇宙の始まりを学習し、ビッグバンや宇宙の晴れ上がりについて、宇宙の広がりと銀河の分布を学習し、宇宙の大規模構造について理解する。 2．太陽のエネルギー源や太陽の表面現象について学習し、太陽の構造について理解する。 3．太陽系の構造と誕生について学習し、太陽系がどのように形成されたのかを理解する。	a:ビッグバン、元素の誕生や宇宙の晴れ上がりに関心をもち、宇宙の始まりについて意欲的に探究しようとしている。 b：宇宙の広がりと銀河の分布に関心をもち、宇宙の姿について意欲的に探究し、それらを発表するためにまとめる。 c：太陽表面の構造から太陽活動を考える。地球型惑星と木星型惑星の違い・原因を説明できる。原始太陽、原始太陽系星雲、微惑星、原始惑星を理解する。	学習状況観察、ノートの記述、小テスト、定期考査	学習状況観察、ノート・ワークシートの記述、発表、定期考査	探究活動、ノート・観察・実験ワークシート
3学期	大気と海洋	1．大気の組成、大気の圧力、大気圏の構造を学習する。 2．大気中の水、雲の発生について理解する。 3．緯度によるエネルギー収支を学習し、大気の大循環について理解する。 4．日本の四季の変化について理解する。 5．海洋表層の循環と鉛直方向の循環について学習する。	a:大気の組成、大気の圧力、大気圏の構造について関心をもち、各種の気象情報を積極的に日常生活に利用しようとしている。 b：飽和水蒸気圧と温度との関係を示すグラフから、相対湿度を計算によって求めることができる。 c：大気のエネルギー収支、温室効果を理解し、知識を身に付けている。大気と海洋の関係、熱の南北輸送を理解し、知識を身に付けている。	学習状況観察、ノートの記述、小テスト、定期考査	学習状況観察、ノート・ワークシートの記述、発表、定期考査	探究活動、ノート・観察・実験ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度